

# 新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
 担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道372号 <small>やしろ</small> 社バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	兵庫県
起終点	自：兵庫県加東郡社 町木梨 至：兵庫県加東郡社 町田中	延長	2.8 km		

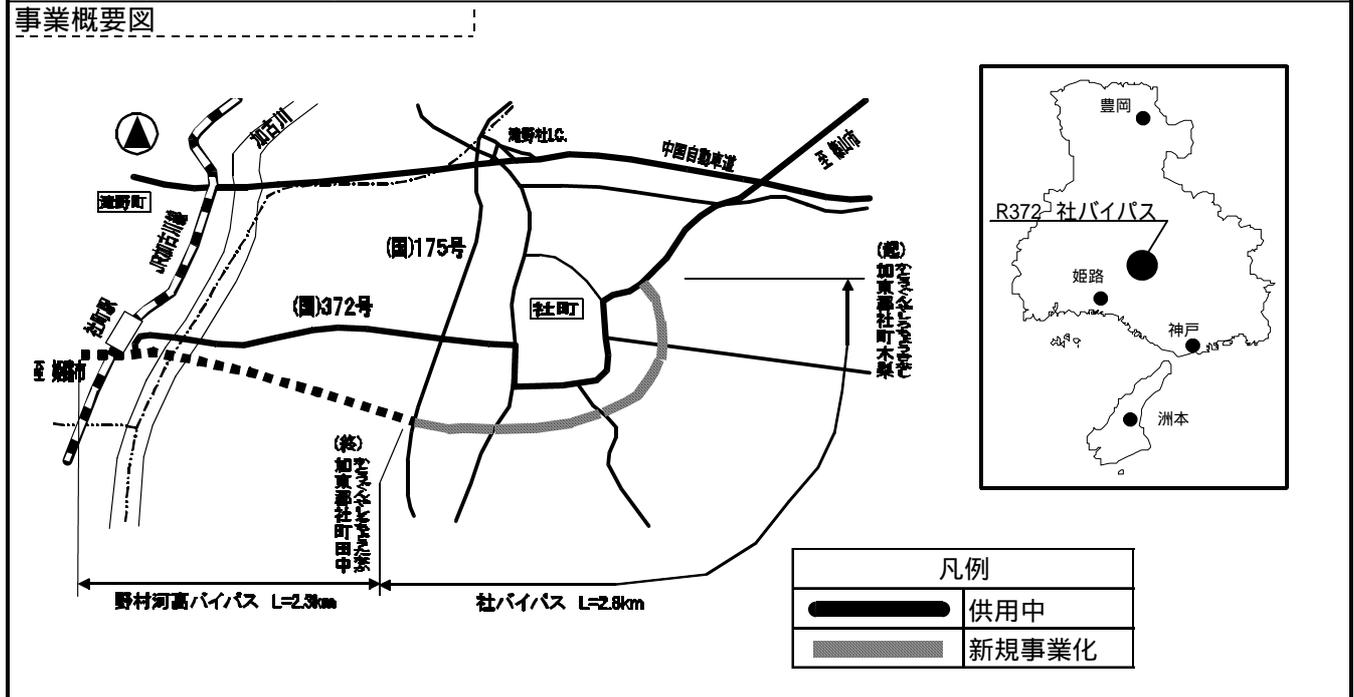
**事業概要**  
 一般国道372号は、京都府亀岡市を起点として兵庫県姫路市に至る延長約10.4kmの幹線道路であり、阪神大震災の際には広域迂回ルートとして非常に重要な役割を果たした路線である。社 町市街地では、通過交通と地域内交通の混在及び3箇所直角交差する線形不良箇所があり、慢性的な渋滞を引き起こしている。本事業はこれらの問題を解決するため、市街地を迂回するバイパスを整備するものである。

**事業の目的、必要性**  
 社バイパスは、社 町中心市街地外側に環状道路を形成することにより、通過交通と地域内交通を分離し、市街地内の交通渋滞の解消と交通事故の減少を目指し、安全で、円滑な交通の確保を目的としたバイパス事業である。

全体事業費	14 億円	計画交通量	11,000台/日
費用対効果分析結果	B/C : 2.5	総費用 : 14 億円 <small>（事業費：11 億円 維持管理費：3 億円）</small>	総便益 : 35 億円 <small>（走行時間短縮便益：30 億円 走行費用減少便益：2 億円 交通事故減少便益：3 億円）</small>
			基準年 : 平成15年

**事業の効果等**  
 ・円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。）  
 ・災害への備え（緊急輸送道路ネットワーク計画としての位置づけがある。（1次）  
 他の9項目に該当する。（定量的評価項目を含む。）

**関係する地方公共団体等の意見**  
 社町総合計画及び都市計画マスタープランにおいて、社外環状線（国道372号バイパス）は、町における社会資本整備の中で最重要課題として位置づけられており、町議会、地元自治会からも早期整備を求める要望（H15.11）を受けており、町の総意として早期事業化を熱望するものである。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。